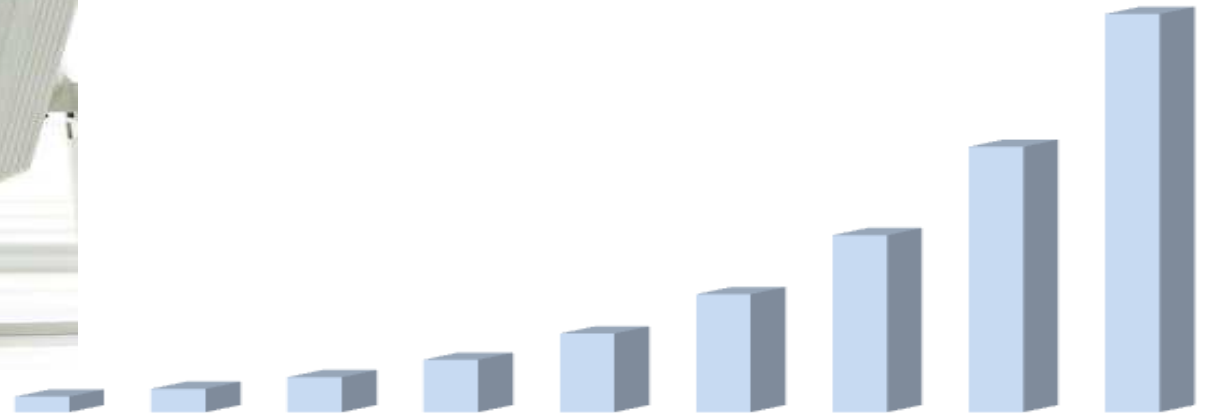


ソフトマックス株式会社

2022年12月期
決算補足説明資料
2023年2月21日



- ① 売上高50億円(前年比112.5%)・受注高35億(同109.3%)ともに
上場以来、過去最高を記録。
新規顧客や既存顧客のシステム更新は順調に増加
- ② 2年連続の増配を予定。東京証券取引所上場10周年(2023/3/12)
を記念して**1株当たり30円**(普通配当20円/記念配当10円)
- ③ 積極的な採用活動により業務拡大

	2021年12月末	2022年12月末	2021年12月末比
従業員数	196名	209名	6.6%増



医療分野でのDXを通じたサービスの効率化・質の向上による持続可能な社会保障制度の構築

▶▶ 「骨太方針2022」閣議決定

内閣府:閣議決定(2022.6. 7)

- ✓ 医療DXを推進するための重要な施策(「全国医療情報プラットフォームの創設」、「電子カルテ情報の標準化等」、「診療報酬改定DX」)等の推進を決定。

▶▶ 「医療DX推進本部」設置

内閣府:閣議決定(2022.10. 11)

- ✓ 医療DX推進のため、内閣総理大臣を本部長とし、内閣官房長官、4省庁大臣からなる「医療DX推進本部」を設置し、関連施策の進捗状況を共有・検証。

▶▶ 医療DXの具体的施策

- ✓ 保険資格の自動取込や薬剤情報・特定健診情報を共有するオンライン資格確認の義務化(2023年4月)や、マイナンバーカードで薬を受け取る電子処方箋の運用開始(2023年1月)。



電子カルテシステムの新規顧客や既存顧客のシステム更新の需要増加、オンライン資格確認システムの全国の医療機関への販売、大型案件の売上により増収。

開発エンジニアを中心とした人財への投資と材料費の増加により減益で着地。

(単位:百万円(配当金を除く)、下段は構成比)

	2021年12月期 累計	2022年12月期 累計		
		実績	増減率	主な増減要因
売上高	4,489 (100.0%)	5,050 (100.0%)	12.5%	<ul style="list-style-type: none"> ◆ システムソフトウェア販売高の増加 (+210百万円) ◆ ハードウェア販売高の増加 (+234百万円) ◆ 保守サービス等売上高の増加 (+116百万円)
売上総利益	1,451 (32.3%)	1,442 (28.6%)	▲0.7%	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 売上高の増加 (+ 561百万円) ◆ 売上原価の増加 (▲ 570百万円)
営業利益	589 (13.1%)	547 (10.8%)	▲7.1%	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 売上総利益の減少 (▲ 9百万円) ◆ 販売費及び一般管理費の増加 (▲ 32百万円)
経常利益	630 (14.0%)	592 (11.7%)	▲6.0%	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 営業利益の減少 (▲ 41百万円) ◆ 営業外収益の増加 (+ 3百万円)
当期純利益	422 (9.4%)	419 (8.3%)	▲0.7%	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 税引前当期純利益の減少 (▲ 26百万円) ◆ 法人税等の減少 (+ 23百万円)
1株当たり配当金	20円	(予定) 30円		



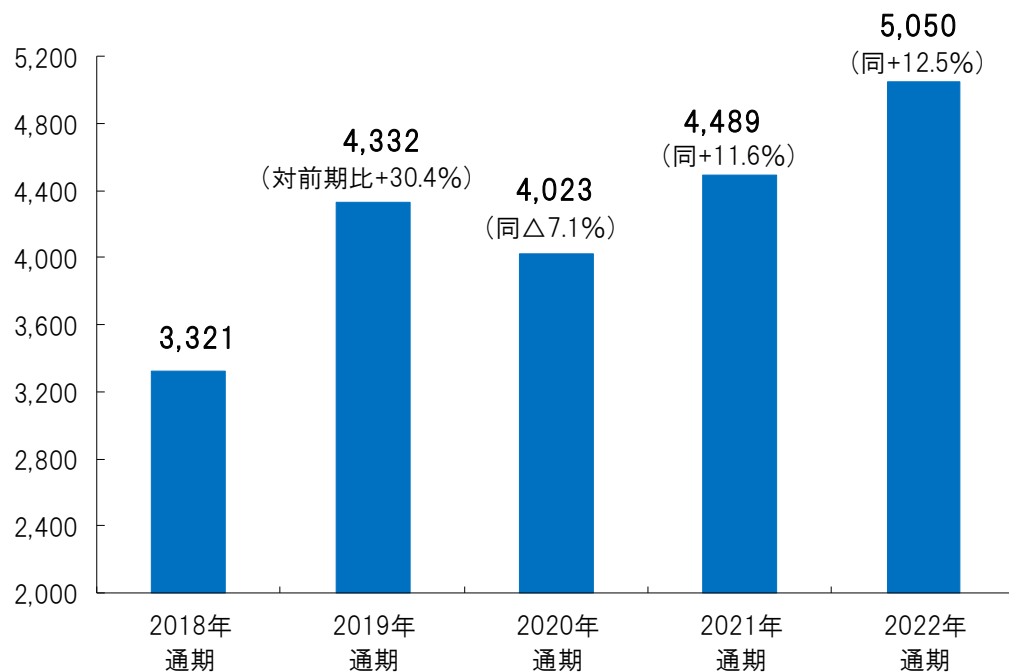
過去5年間の業績は順調に推移し、売上高、営業利益ともに増加傾向。

2022年は、売上高152%、営業利益217%(ともに2018年比)。

売上原価と販管費の効率化と、クラウド月額利用料・保守料の伸長(同124%)により利益率も向上傾向。

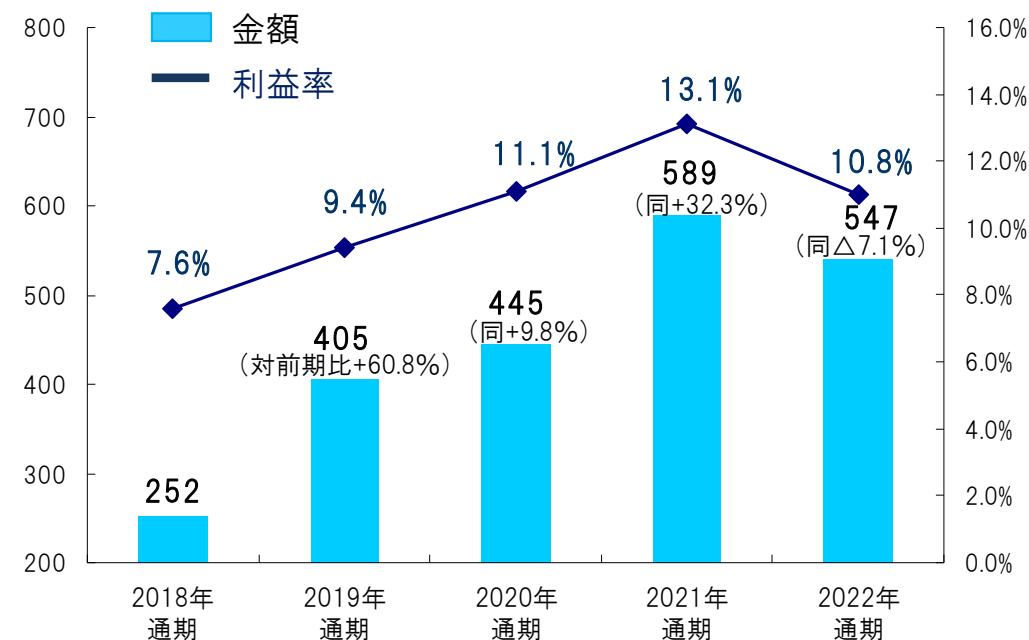
売上高

(単位:百万円)



営業利益

(単位:百万円)



2023年12月期 業績予想



主力の電子カルテに加え、医療DX関連の販売を強化し、受注は堅調に推移すると予想。持続的な中長期の成長のために、きめの細かいサービス提供による既存顧客の満足度向上と、人財への投資を強化。

(単位:百万円(配当金を除く)、下段は構成比)

	2022年12月期	2023年12月期	
	実績	予想	前期比
売上高	5,050 (100.0%)	5,000 (100.0%)	△50
営業利益	547 (10.8%)	550 (11.0%)	+3
経常利益	592 (11.7%)	592 (11.8%)	+0
当期純利益	419 (8.3%)	391 (7.8%)	△28
1株当たり配当金	(予定) 30.0円 (普通配当20.0円) (上場10周年記念配当10.0円)	(予定) 20.0円 (普通配当20.0円)	



▶▶ 更なる顧客満足度向上に向けた製販一体での取組み

- ✓ お客様のシステム運用をサポートする技術・営業両面の体制強化

▶▶ 医療DX関連事業の促進

- ✓ 電子処方箋やオンライン資格確認関連サービスの全国展開
- ✓ 骨太方針2022の重点施策「電子カルテ情報の標準化等」の推進。
医療情報交換のための新しい標準規格HL7 FHIRの実装を始めとするデータ利活用の
新機能・新技術の提供

▶▶ 人的資本経営の推進

- ✓ 更なる業務拡大のための中途・新卒の採用と、社員教育の強化
- ✓ 働きやすい環境づくり



社名	ソフトマックス株式会社
本社	東京都品川区北品川4-7-35 御殿山トラストタワー7階
本店	鹿児島市加治屋町12-11
設立	1974年1月
市場(証券コード)	東京証券取引所グロース(3671)
資本金	437,080,400円
代表者	代表取締役会長 野村 俊郎 代表取締役社長 松島 努
従業員数	209名(2022年12月31日現在)
事業内容	Web型電子カルテシステム等の総合医療情報システムの開発・販売・導入・保守
拠点	東京本社、名古屋支店、大阪支店、福岡支店、鹿児島本店、他営業所、出張所、開発拠点含め 計16拠点



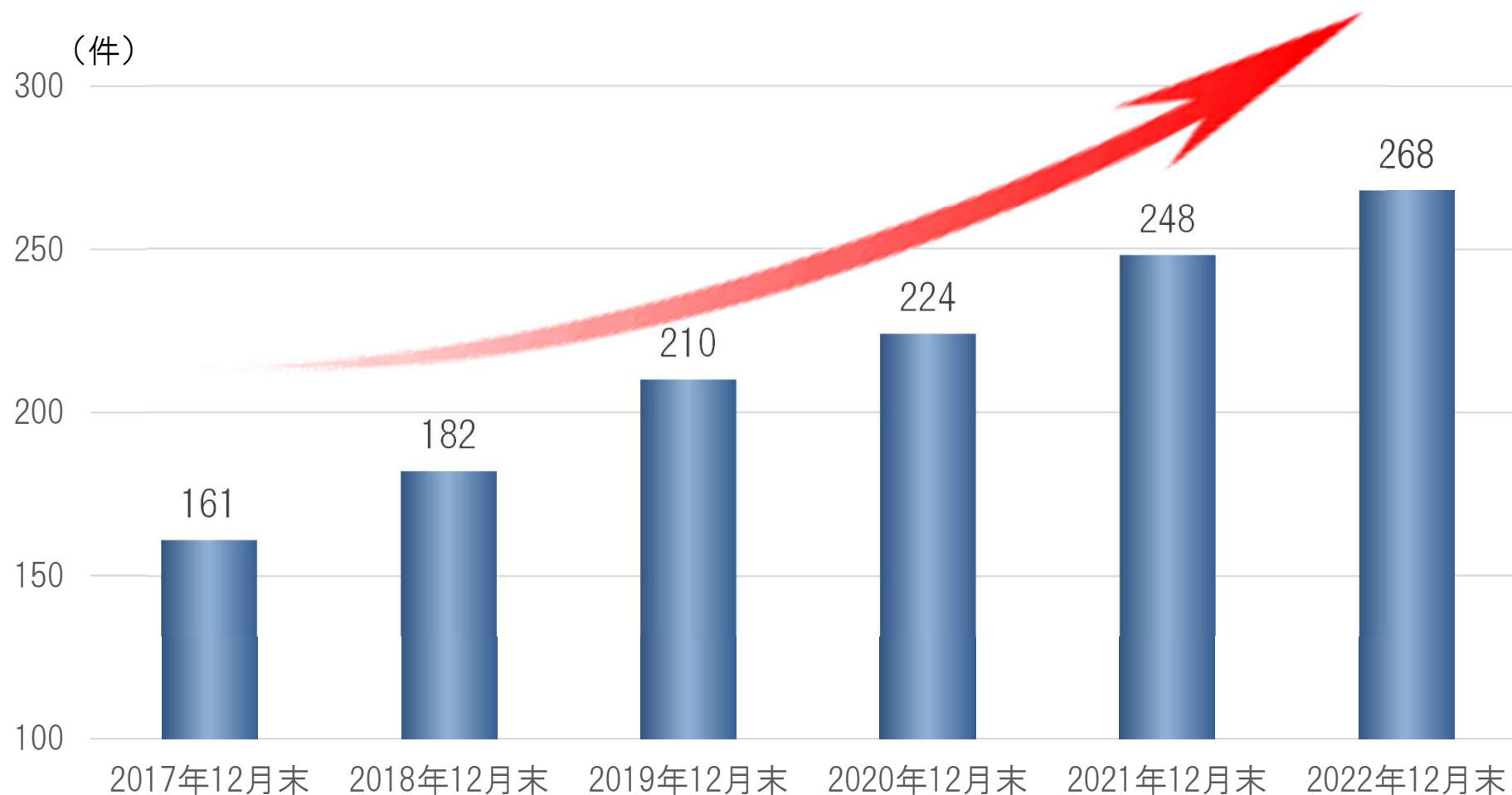
	2019年 通期 (実績)	2020年 通期 (実績)	2021年 通期 (実績)	2022年 通期 (実績)	2023年 通期 (計画)
売上高(百万円)	↗ 4,332	4,023	↗ 4,489	↗ 5,050	5,000
営業利益(百万円)	↗ 405	↗ 445	↗ 589	547	↗ 550
経常利益(百万円)	↗ 429	↗ 488	↗ 630	592	↗ 592
当期純利益(百万円)	↗ 270	↗ 334	↗ 422	419	391
1株当たり配当金(円) ※1	↗ 12.0	12.0	↗ 20.0	↗ 30.0	20.0
売上高営業利益率(%)	↗ 9.4	↗ 11.1	↗ 13.1	10.8	↗ 11.0
ROE(%)※2	↗ 14.3	↗ 15.7	↗ 17.3	15.1	

※1 2022年の期末配当につきましては、30円(うち普通配当20円・上場10周年記念配当10円)を予定しております。

※2 株主資本は期首自己資本と期末自己資本の平均値を使用しております。



電子カルテ・オーダリングシステムの稼働件数は5年前より約1.7倍となり、堅調に推移。





ソフトマックスは、 クラウド対応Web型電子カルテで 医療DXを推進します。

<本資料のお取り扱いにつきまして>

本資料は情報提供のみを目的として当社が作成した資料であり、当社の有価証券の販売や購入の勧誘を目的としたものではありません。

本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの将来の見通しに関する記述は、本資料の作成時点の情報に基づいて作成されています。これらの記述は、将来の結果や業績を必ずしも保証するものではありません。このような将来予想に関する記述には、既知及び未知のリスクや不確実性が含まれており、その結果、将来の実際の業績や財務状況は、将来予想に関する記述によって明示的または黙示的に示された将来の業績や結果の予測とは大きく異なる可能性があります。

